

ベリーズ犯罪等発生状況（令和6年9月分）

〔殺傷事件関連〕

9月1日〔銃撃事件〕 午前2時頃、カヨ郡コットンツリー村で男性（31歳）が銃撃される事件が発生した。近くで銃声がしたとの通報を受けた警察官が被害者男性宅へ到着すると、ヒスパニック系の男性が頭部と胴体に被弾し、うつ伏せの状態になっているのを発見した。警察の捜査によると、被害男性は近隣の酒場で働くグアテマラ国籍のバーテンダーで、自宅で就寝中に男性2名に襲われ、乱闘の末に銃撃された。その後、容疑者2名は現場から逃走している。この銃撃は女性をめぐる争いが原因だった。

9月8日〔行方不明者死傷事件〕 カヨ郡カマロッテ村のハイウェイ脇の茂みの中で行方不明だった男性の遺体が発見された。警察によると、被害男性はカマロッテ村に住む視覚障害者の男性で数日前から行方不明になっており、男性の姪が捜索願を提出していた。発見された被害男性は、手足を延長コードのようなもので縛られており、首には複数の切り傷を負った状態だった。

9月9日〔銃撃事件〕 午前6時頃、コロザル町2番街にて銃撃事件が発生し、母娘が死亡した。銃声の通報を受けた警察官が被害者宅へ駆けつけたところ、母親（46歳）が自宅で死亡しているのが発見され、近くで倒れていた娘（21歳）も病院へ搬送された1時間後に死亡が確認された。警察からの情報によると、娘の元夫である男性（21歳）に容疑がかけられおり、母親を銃撃した後に事件現場から逃走し、現在も警察の捜査が行われている。

9月9日〔銃撃強盗事件〕 午後10時頃、ベリーズ郡サンペドロ町の理髪店において銃撃強盗事件が発生した。警察によると、同町のサンファン地区にある理髪店の従業員の男性（38歳）が複数人の強盗に襲撃され、両足を撃たれた。被害男性は、治療のためサンペドロ町総合病院へ搬送され命に別状はないが、十分な治療が望めないことからベリーズ市のKHM病院へ飛行機で搬送された。なお、理髪店の詳しい被害状況は不明。現在、逃走した犯人の情報を含め警察は広く情報提供を求めている。

9月12日〔銃撃事件〕 午後11時頃、ベリーズ市の警察官の自宅で銃撃事件が発生した。警察からの情報によると、男性警官（23歳）が帰宅した際、自分の家族と恋人である女性警官と一緒に過ごしていた。その後、男性警官は自室に入り、装備していた銃を棚に置いて就寝したが、すぐ後に女性警官が男性警官の部屋に入り男性警官が棚に置いた銃を手に取り、男性警官に対して浮気していることを非難しながら発砲した。男性警官は自宅からすぐに避難したため、けがはなかった。

9月17日[死傷事件] 午後8時30分頃、ベリーズ郡のキーカーカー村で死傷事件が発生した。警察によると、村の栈橋で乱闘騒ぎが発生しているとの通報を受けた警察官が現場へ到着すると、刺し傷を負った青年（18歳）を発見した。この青年は、他の友人と2名と自転車で移動していたところ、突然マチュテ（山刀）を持った不審男性3名に襲われた。乱闘の末、他2名の友人は軽傷で済んだが、青年は深い刺し傷を負い、KHM病院へ搬送された。

9月21日[刺傷事件] 午後8時頃、オレンジウォーク町のベリーズ・コロザル通りで父親（48歳）と息子（28歳）が刺傷される事件が発生した。警察によると、父子が通り沿いのテントでビールを販売していたところ、酒に酔った不審男性が近づいてきて息子と口論になり、不審男性はナイフを取り出し息子の首と胸を刺した。助けに入った父親も腕を切りつけられ負傷した。その後、父子は北部地域病院へ搬送され父親の容態は安定しているが、息子は危篤状態にある。警察は逃走した男性の捜査を続けている。

9月21日[刺殺事件] 午後9時頃、オレンジウォーク町のベリーズ・コロザル通りで男性（23歳）が刺殺される事件が発生した。警察によると、同町で行われていた独立記念祭のカーニバルが終わり帰路についていた被害男性が、道ばたで酒に酔った男性らと激しい口論になり、ナイフで刺された。その後、被害男性は北部地域病院へ救急搬送されたが、死亡が確認された。被害男性を刺した加害者らの目撃情報は少なく、警察は広く情報提供を求めている。

9月25日[刺殺事件] 午前11時頃、トレド郡のベラ・ビスタ村で兄弟喧嘩の末に弟が刺殺される事件が発生した。警察によると、この兄弟は自宅で友人と食事をしながら過ごしていたところ、ラム酒の取り合いで口論となり、激高した弟（26歳）がそばに置いてあったドライバーを手にとって兄（37歳）の胸に突き刺し逃走した。兄はそのまま死亡しまった。逃走していた弟は近所に住んでいた両親の家で逮捕、起訴された。

[強盗事件関連]

9月4日[窃盗事件] ベリーズ市のゴールデンスカイ・スーパーマーケットで発生した窃盗事件の拘留中だった容疑者男性（65歳）が同日起訴された。事件は、8月31日に発生し、同店で買い物中だった女性客の現金が入った財布、170ベリーズドル（約1万2千円）相当が盗まれる被害に遭った。被害女性は店で支払いを終え、帰りのバスの車内で財布がなくなっていることに気がつき、店に戻り監視カメラの映像を確認したところ、男性が財布を盗んでいるところが映っており、警察へ通報した。

9月5日[窃盗事件] ベリーズ市の男性(28歳)が警察官から50ベリーズドル(約3千7百円)を盗んだ罪により、同月3日に起訴された。事件は、8月29日に発生しており、警察官は容疑者男性へ50ベリーズドルを手渡して食料を購入してくるよう依頼していたが、この男性はお金を受け取ったまま警官の元へ戻らず、そのまま逃走した。法廷での判決では、容疑者男性は過去の余罪が複数あり、当時の罰金も未払いだったため保釈を認めることは難しく、今回と過去の罰金2,110ベリーズドル(約16万円)を支払わなければ禁固1年の刑が科せられる。

9月17日[武装強盗事件] 午後1時30分頃、オレンジウォーク町のグアヤナ通り沿いにあるカリビアンチキンストアで強盗事件が発生した。警察によると、不審な男性2名が店内に入り、1人は銃を、もう1人はナイフを所持し、同店の店長を脅した。強盗らは金銭を要求し、売上金を強奪するとそのまま逃走した。店長にけがはなかった。なお、被害総額は明らかにされておらず、警察による捜査が続いている。

[違法薬物、違法銃器等関連]

9月3日[コロザル在住の一家の自宅からコカイン押収] コロザル郡にて行われた家宅捜査の結果、複数の人物を逮捕、起訴した。同郡内に別々に住んでいる家族8人のそれぞれの自宅から、総量9.38キログラムにもものぼるコカインが発見された。警察によると、この一家の内1名は現職の警察官であり、また17歳の未成年少女もいた。この一家は、他人への密売目的で規制薬物を所持していたため、全員が逮捕された。

9月11日[違法薬物規制違反] ベリーズを訪問したアメリカ国籍の女性(28)がフィリップ・ゴールドソン国際空港で規制量以上の大麻を所持していたとして逮捕、起訴された。事件は、9月5日に観光目的でベリーズへ入国した女性が、11.1グラムの大麻を所持していたとして逮捕され、10日に有罪判決となった。当初、女性は自分が住んでいるロサンゼルスでは大麻所持が合法であり、ベリーズでも同様だと主張していたが、裁判官はこの女性へ罰金1,000ベリーズドル(約7万5千円)を即日支払いうよう命じた。なお、女性はベリーズ国籍でないため、同日中に支払いが出来ない場合は、懲役3年と罰金1万ベリーズドルが科せられる。

9月16日[大麻草の農園を焼却処分] 午前4時頃、オレンジウォーク郡内の農園で違法に栽培されていた大量の大麻草を焼却処分した。警察庁の発表によると、警察の捜査班により発見された同郡内の農園には、875本の大麻草が栽培されていた。この大麻草は、警察

によりすべて伐採し、その後、焼却処分された。この農園の付近には人気がなく、また農園内には誰もいなかった。

9月18日[**コカイン押収**] 午後9時頃、コロザル郡サルテネハ村において大量のコカインが発見、押収された。警察によると、同地域で大規模な麻薬摘発を行っていた捜査チームが密売目的でコカインを所持していた男性（35歳）の自宅へ突入し、28キログラムにも及ぶ25包のコカインを押収した。発見現場には家主の男性の他、3名の男性が居合わせており、共犯者として全員が逮捕、起訴された。

9月19日[**大麻煙の処分及び、コカイン押収**] 同日、警察の捜査によりベリーズ郡とオレンジウォーク郡の境にある地域で発見された大麻煙の焼却処分及び、コロザル郡チュノックス村においてコカイン6包を発見した。コロザル郡で発見されたコカインについては、コロザル郡在住の数人の容疑者男性を逮捕・拘留しており、近く起訴される予定。ベリーズ郡の大麻煙については持ち主不明のまま、焼却処分が行われた。警察は引き続き、各地域での捜査を続けている。

9月24日[**違法薬物生産国の指定**] バイデン米国大統領は、ベリーズを「主要な麻薬輸送国または主要な違法薬物生産国（米国に重大な影響を及ぼす特定の麻薬や物質の生産に使用される化学物質等の重要で直接的な供給源である国を含む）リスト」に挙げた。このリストにはベリーズの他、バハマやボリビア、ジャマイカ、ペルー等を含む中南米の主要国が記載されている。米国政府はベリーズをリストアップすることで、薬物の規制についての支援と援助を続けることができると述べた。

9月26日[**違法薬物等の押収**] 午後1時30分頃、ベリーズ市のベラマ地区の民家で行われた家宅捜査で大量の違法薬物を押収した。警察によると、家主の女性（47歳）に対して捜査令状による家宅捜査を行ったところ、コカインとメタンフェタミン20,3キログラム、大麻草8,5キログラムが発見され、いずれも密売目的で所持されていた。また、女性宅からは売上金と見られる1,550ベリーズドル（約11万9千円）が見つかった。その後、この女性は麻薬密売の罪、違法薬物所持の罪、規定量以上の大麻草所持の3件の罪により逮捕、起訴された。

9月27日[**現職大臣が所有しているボートからコカイン押収（当館注目）**] 午前7時頃、現地住民より係留所に停泊している多くの船が麻薬密売人の違法薬物の隠し場所になっているとの通報を受け、警察がサンペドロタウンの係留所に停泊していた船を捜査したところ、一隻のボートから474グラムのコカインを発見し、押収した。その後の捜査で、コカインが発見されたボートの持ち主は、アンドレ・ペレス ブルーエコノミー・災害リスク管

理を担当している大臣のボートであることが判明した。大臣は、ボートは修理のために6ヶ月間係留所に停泊させていた。その間ボートは使っておらず、今回の事件と自分は無関係であり、誰かが自分を陥れようとしていると主張した。その証拠として大臣は、停泊期間中の料金を支払ってきたことを示す領収書を証拠として警察へ提出したため、警察は大臣に対してそれ以降の捜査を行わなかった。

[その他事件・事故関連]

9月9日[**交通事故**] 午後7時頃、オレンジウオーク郡サンフェリペ村において交通事故が発生し、バイクを運転していた男性（18歳）が死亡した。警察によると、男性は自宅へ帰る途中に牛の群れと遭遇し、そのまま群れに衝突した。その後、複数の傷を負った状態で発見され、北部地域病院へと搬送され死亡が確認された。警察は、夜間で見通しの悪い道路では速度を落として走行し、動物の群れなどには十分注意するよう、注意喚起を行った。

9月11日[**交通死亡事故（当館注目）**] 午後1時頃、ジョージ・ブライス・ハイウェイの37マイル付近で交通事故が発生した。警察によると、2名の観光客を含む3名が乗った白いバンとSUVが衝突し、SUVに乗車していた2名の内1名が死亡した。事件当時、ハイウェイを走行していた白いバンは、前方から猛スピードで接近してきたSUVを避けようとしたが、避けきれずにSUVと衝突した。観光客2名は軽傷を負っており、SUVの運転手は意識不明の状態でKHM病院へ搬送された。なお、死亡した同乗者は、シートベルトの着用を怠っていた。

9月14日[**交通死亡事故**] 午後11時頃、スタンクリーク郡ホプキンズ村において未成年者を含む交通事故が発生した。警察によると、バイクを運転していた男性（19歳）と同乗者の少年（15歳）がホプキンズ通りからレストランへ曲がろうとしたところ、黒いSUVと衝突した。この事故でバイクを運転していた男性は病院に搬送され治療をうけていたが、その後、死亡が確認された。バイクに同乗していた少年に命の別状はない。

9月23日[**警察庁長官への暴行事件（当館注目）**] チェスター・ウィリアムズ警察庁長官へ暴行を加えた罪で、ベリーズ系アメリカ人男性（46歳）が法廷で有罪判決を受けた。事件は、21日午後4時頃に発生した。当時、オレンジウオーク町で行われていた独立記念祭のカーニバル中に、公共の場で酒に酔っていた男性をウィリアムズ長官が注意し、ビール瓶を手渡すように伝えたところ男性は激昂してウィリアムズ長官を力強く押しのけ、長官は転倒し負傷した。なお飲酒は、酒場やプライベートな空間でのみ許可されている。男性は罰金1,500ベリーズドル（約11万5千円）が命じられ、この支払いが滞った場合は懲役10ヶ月の刑に処される。